

## 星峯西小プランの具体策について

校長 谷口源太郎

学校だより第1号で学校経営の概要についてはお伝えしましたが、今回は、新たに取り組む主な具体策を説明いたします。キーワードは「TW（チームワーク）とTP（チームプレイ）」です。現在、学校が抱える重点課題は次の3点だととらえています。

- ① 学力向上（授業改善、補充指導の充実、学習の仕方の習得、家庭での宅習の習慣化など）
- ② 基本的な生活習慣の確立（早寝早起き朝ごはんによる規則正しい生活リズムの確立、電子機器等のルールやきまりづくりなど）
- ③ 教育の情報化に伴うデジタル通信システムの構築とタイムリーな情報発信

これら3つの課題を学校と家庭と地域が連携・協働してTW（チームワークと）とTP（チームプレイ）で解決しようという考え方になります。【図1】

### ① 学力向上

家庭学習においては、基礎基本の確実な定着を図るために、全学年で「家庭学習ノート」【図2】を引き続き活用し、系統的に漢字・日記・宅習の三点セット（読書を含めて四点セット）を小学校6年間でしっかりと身に付けられるようにしていきます。そのためには教師による適切な課題の与え方と子どもたちへの賞賛・励まし、更には保護者の見届けの「連携プレイ」を欠かすことはできません。

### ② 基本的な生活習慣の確立

PTAとしての取組については5つのPTA共通実践事項に取り組んでいきたいと考えています。【図3】また、平日の帰宅後の子どもたちの生活をシミュレーション【図4】すると保護者から子どもへの声かけの大切なタイミングが見えてきます。そのタイミングを逃すことなく確実に声かけをしていただきたいと思います。ノーメディアタイムや食育等の取組は、小学校はもちろんのこと、小中連携して取り組みたいと思っています。保護者には家庭の教育環境づくりと見届けをお願いしたいと考えています。

### ③ 教育の情報化に伴うデジタル通信システムの構築とタイムリーな情報発信

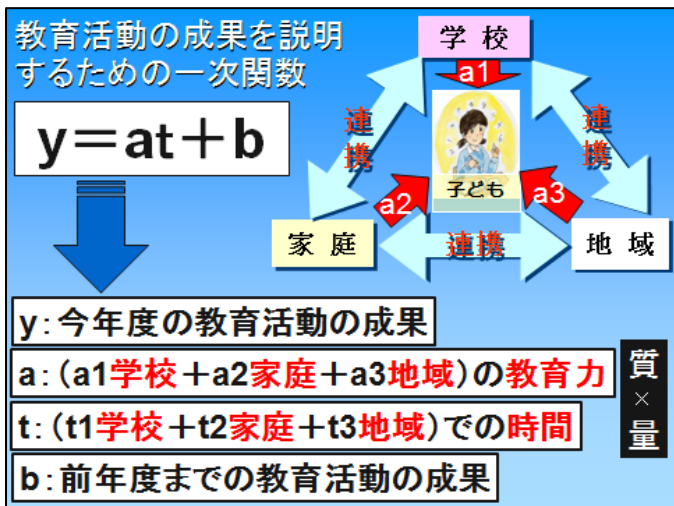
現在、学校では「教育の情報化」（＝GIGAスクール構想）を推進するために、子ども一人1台のタブレット型パソコンを配備して、情報化社会・デジタル時代に対応できる子どもたちを育成するためにICT機器をより一層積極的に活用した授業を展開していく予定です。しかしながら子どもたちの中には家庭でのインターネットの使用時間がかなり長時間になり、昼夜が逆転して日常生活に支障をきたしている児童生徒も見られております。平日に家庭でのメディアの使用時間が長時間になると当然のことながら家庭学習時間の確保が難しくなります。【図5】その状況を解決するためにも、親子で話し合いによる家庭内ルールをつくり、よりよい使い方が身に付くように学校と家庭で連携して取り組んでまいりたいと考えています。

また、学校と家庭をつなぐデジタル通信システムについてもさらに充実させていきたいと思っています。

います。現在活用している「安心安全メール」を活用して保護者がスマホから学校に欠席の連絡を送信したり、学校が保護者にペーパーで依頼している承諾書の押印をなくしてメールで回答したりするなど、できるところから少しずつ進めていく予定です。そうすることで学校と保護者間の連絡事務の効率化、簡素化が図られていくと考えています。今後とも HP や安心安全メール等を通じて積極的に情報発信をしていきますので、何か不明な点があれば遠慮なくお問い合わせください。

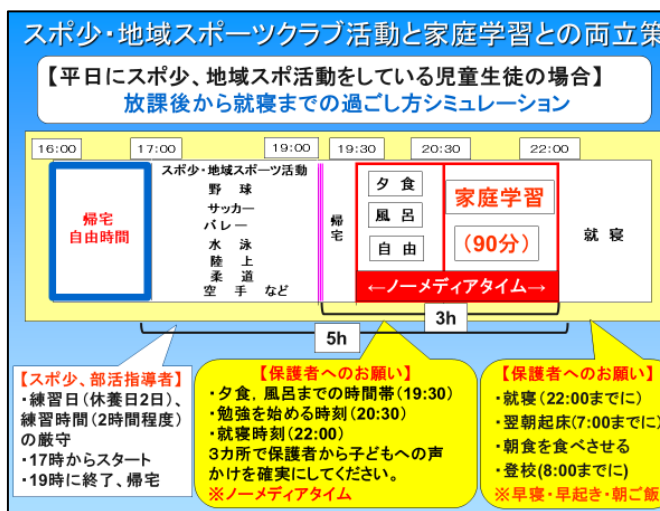
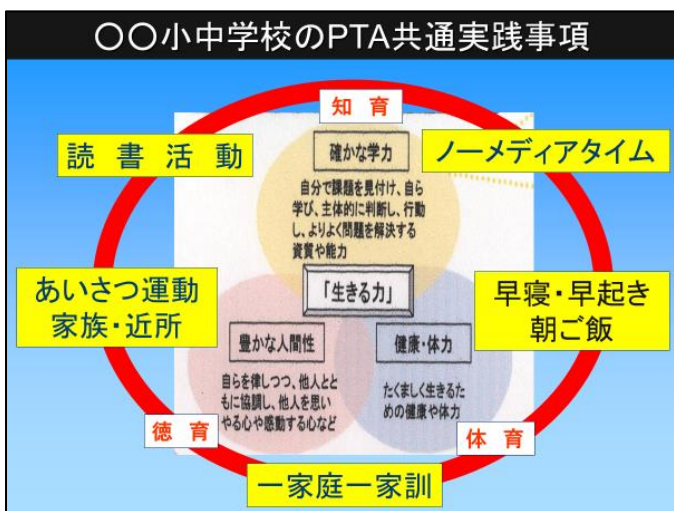
【図1】三者連携で取り組むモデル図

【図2】基礎基本を育てる家庭学習ノート



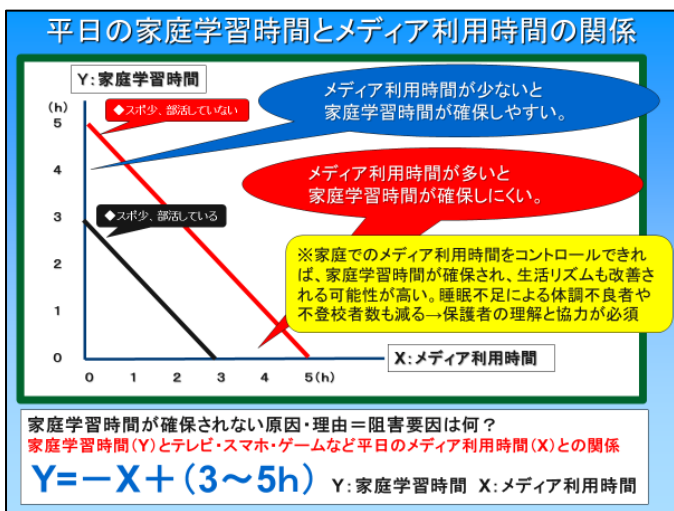
【図3】PTA 共通実践事項

【図4】家庭での過ごし方シミュレーション



【図5】家庭学習とメディア使用時間の関係

【図6】教育の情報化を図る様々な取組



「教育の情報化」を図る様々な取組

学校が保護者等に求める押印の見直し及び学校・保護者等における連絡手段のデジタル化の推進について(通知)R2.10.22付

- ①保護者等による押印の効力
- ②押印の省略、デジタル化への移行
- ③デジタル化した際の保護者等からの意思表示であることの証明
- ④GIGAスクール構想に基づき整備された端末に付随する機能の活用
- ⑤個人情報の取扱い
- ⑥デジタル環境への対応が難しいご家庭への配慮

全家庭のネット環境整備の推進  
ハード・ソフト面の事業展開

- ①文科省が学校と家庭間の連絡についてデジタル配信システムの活用などデジタル化するよう求める通知文を发出
- ②可能などから順次取組を進める。
- ③教職員の業務改善と保護者負担の軽減に繋がる。(行政手続きの押印廃止)
- ④効率的な情報伝達手段の検討を要請

保護者とのやり取り 脱はんこ

学校便利 デジタルで

文科省通知「順次対応を」